

市町村名	久米島町						
令和元年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	海洋深層水を活用した新体験プログラム形成事業				事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他	
担当部課名	商工観光課		現年事業または継越事業	<input checked="" type="checkbox"/> 現年事業 <input type="checkbox"/> 継越事業	事業実施(予定)年度	平成30～令和元年度	
事業内容	観光誘客及び観光客の消費額増を図るため、海洋深層水を活用した体験プログラム等の商品開発及び体験プログラムを担う人材を育成する。						
	先導性等に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成			
<input checked="" type="checkbox"/> 官民協働		<input checked="" type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> その他				
<input type="checkbox"/> 離島地域特有の条件不利性に起因するもの							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・ 執行額 〔単位:千円〕 〔「補助金」+「市町 村負担」ベース〕	予算の 状況	H30年度	R1年度	年度	年度	年度	
		当初予算額	19,118	21,837			
		増減額	0	0			
		予算現額	19,118	21,837			
		前年度から継越	0	0			
		翌年度へ継越	0	0			
	計(A)	19,118	21,837				
	執行済額(B)	17,388	19,315				
	うち補助金充当額	13,910	15,452				
	不用額	1,730	2,522				
執行率%(B/A)	91.0%	88.5%					
予算の状況の説明	概ね当初計画通りの予算執行であった。不用額2,522千円については、事業執行に際し専門的な事業者を取り入れたことで委託先の直接執行経費が圧縮され、委託費が減額となったことによる執行残である。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度		R1 年度	年度	年度	年度
		海洋深層水を活用した新体験プログラム形成事業件数(件)	目 標	1	1		
			実 績	3	1		
		新体験プログラムの担い手育成者数(名)	目 標	2	2		
			実 績	2	2		
	海洋深層水を活用したウェルネスコミュニティ形成のための研修会・実績発表会(件)	目 標		2			
		実 績		2			
	達成状況説明	プログラム形成事業においては、これまで造成したウェルネスツアーやWebサイトを構築した。 担い手育成においては、ツアーサービス提供を担う人材育成を行い、2名のコンシェルジュを育成した。 ウェルネスコミュニティの形成においては、次世代を担う地元高校生を対象に「観光」をテーマとした研修会や実践発表会を開催し、地域連携体制における人材育成を図った。					
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値 (年度)		R2年度	R3年度	R4年度
新体験プログラム(ツアー)への参加者数(名)			目 標		600	-	-
			実 績		0	-	-
実用化された新体験プログラムを目的とした入域観光客数(名増)			目 標			1,200	-
			実 績			0	-
実用化された新体験プログラムを目的とした入域観光客1人当たりの消費単価(円増)			目 標			10,000	-
		実 績			0	-	
進捗状況説明		・体験プログラムが実施できず成果目標を達成できなかった。					

取組の検証	成果目標に対する原因・要因分析	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・プログラムを実施する施設(公共施設)を、塩分に起因する施設の劣化や、設備の損傷が激しいこと、多額の費用が生じる大規模改修を施す必要があることから、令和2年10月末日をもって一時閉館することとなり、体験プログラムの実施が困難になった。</p>	<p>・施設の一時閉館以降、施設の大規模改修及び運営の民営化を目指してPPP手法により施設の再開に向けて取り組んでいるものの、新型コロナウィルス感染症による先行きの不透明感や不安定な世界情勢等の要因から、町の公募に対して民間事業者の応募がなかった。</p>

今後の取り組み方針

・新型コロナウィルス感染症が5類感染症に位置付けられ経済活動が活発化していることを踏まえ、改めてサウンディング型市場調査を行い民間事業者の参画が得られる条件を整理し、施設の早期再開に向けて取り組んでいく。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
総事業費	補助対象事業費	補助金充当額		市町村負担額	補助対象外経費
		19,315	19,315	15,452	3,863
久米島町 19,315千円					
	委託料 9,283千円		9,283千円	海洋深層水ウェルネスプログラ ム開発業務委託	
	委託料 10,032千円		(株)玉川・オリエンタルコンサルタンツ 総合研究所 10,032千円	久米島観光誘客対策業務委託	

資金の流れ、 費目・ 評価目 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。		事業目標達成に必要なノウハウやスキル、体制が整備されており事業実施先として最適な事業者を随意契約方式により選定した。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		見積り精査のうえ、予算を編成した。また、不用額は事業費の1割程度であり適正な規模であった。
-	受益者との負担関係は妥当であるか。		—
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		事業目的を達成するために必要な費目で予算化してあり妥当である。また、予算要求時に財政担当の査定を受けており、検収時(完了検査)において確認を行い適正であった。